



# さんぽっぽ ~景観だより~ ~第31号(27.8)~



『第6回 まちあるきウォッチングin入来麓』を開催しました。

夏休みの8月5日、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている入来麓地区の「清色城跡」や「旧増田家住宅」などの歴史について散策しながら、地元や専門家の方々から話を聞きました。また玉石垣や生垣の景観を見学し、木の種類などについても教えていただきました。

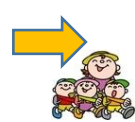
かいしき 開会式



かりや ばば お仮屋馬場



やましろ いざ山城へ



きゆうま 急な登坂を1列に並んで山城へ



きよしき 清色城跡



いりき 入来小学校



へいかいしき 開会式&ジュニア景観マスター認定証授与



きゆうますだ 旧増田家住宅



ほりきり 堀切



たに 敵の侵入を防ぐために人工的につくられた谷

景観重要資産第4号 (H22.3.24認定)

暑い中、参加してくれてありがとう!

## ながさきていぼう 長崎堤防

たかえちよう (高江町)



このぎりの歯のようなギザギザの堤防は水の勢いを弱めるための工夫で、全国でも珍しく、その設計の素晴らしさに現在も高い評価をうけ「選奨土木遺産」に選ばれています。

今から330年くらい前、薩摩藩の殿様は小野仙右衛門を工事責任者に命じ、川内川の堤防工事を行ないました。



堤防の横にある「小野神社」

景観重要資産とは、地元地区のシンボルやイメージとなっている景観資源で、地域の人たちから親しまれ、大事にされている場所(石橋や石塔、滝)などのことです。



難しい工事の成功を願って仙右衛門さんが彫った「心」の文字